2023　年度　授業計画(シラバス)

学　　科	診療放射線技師学科(昼間部)		科　目　区　分	基礎分野	授業の方法	講義
科　目　名	臨床医学英語		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(1)　時間(単位)
対 象 学 年	2年次		学期及び曜時限	前期	教室名	第3校舎702教室
担 当 教 員	小松　真奈美	実務経験とその関連資格	大阪市立大学医学部付属病院にて看護師、りんくう総合医療センターにて医療通訳			

《授業科目における学習内容》

診療放射線技師として必要な基本的な医療単語(各科の名称、体の部位、疾患名など)を習得し、外国人患者さんに検査時(レントゲン、MRI,CTなど)英語で適切な対応が出来るようにする。

《成績評価の方法と基準》

筆記・ロールプレイ試験(70%)
出席点(20%)
平常点(10%)授業参加度・授業態度

《使用教材(教科書)及び参考図書》

医療英語コミュニケーション(国際教育社)

《授業外における学習方法》

英語が苦手な学生は、単語などを調べるなど予習をしておくこと。

《履修に当たっての留意点》

授業中の居眠り、私語、スマホの使用(単語を調べる時間以外)は禁止。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	英語で簡単な挨拶、自己紹介が出来る。身体の各部分の名称を英語で言える。	配布プリント・教科書	特になし
		各コマにおける授業予定	聞き取れなかった時の対応・体の部位の名称		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	受付に来られた外国人患者さんと英語でコミュニケーションが取れる。医療従事者の名称を英語で言える。	配布プリント・教科書	特になし
		各コマにおける授業予定	放射線科外来の受付/医療従事者の名称		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	痛みの表現が理解でき、表現できる	教科書	特になし
		各コマにおける授業予定	Chapte　3　痛みの表現(痛みの種類、時間などの表現)、痛みの表現(ダイアローグ)		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	胸部レントゲン検査時の説明が英語で出来る	配布プリント	特になし
		各コマにおける授業予定	胸部レントゲン検査の会話(ロールプレイ)・診療放射線技師に必要な略語①		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	症状の表現が理解でき、言えるようになる。	教科書	特になし
		各コマにおける授業予定	Chapter 4　症状の表現(様々な症状)		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	CT検査時の説明が英語で出来る	配布プリント	特になし
		各コマにおける授業予定	CT検査時の表現・診療放射線技師に必要な略語②		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	病気の名前が言える	教科書	特になし
		各コマにおける授業予定	Chapter 5 病気の名前、既往歴の聞き方(リスニング、ダイアローグ)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	医学用語のしくみを知る	配布プリント	特になし
		各コマにおける授業予定	医学用語の基礎知識・診療放射線技師に必要な略語③		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	簡単な臓器の名称が理解できる。アレルギーの有無などが聞ける	教科書	特になし
		各コマにおける授業予定	Chapter 6　アレルギーや生活習慣(リスニング、ダイアローグ)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	MRI検査前の注意事項が言える・問診ができる	配布プリント	特になし
		各コマにおける授業予定	MRI検査の表現・診療放射線技師に必要な略語④		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	ロールプレイ本番に向けての準備ができる	教科書	今までの資料を持参のこと
		各コマにおける授業予定	ロールプレイ準備①		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	ロールプレイ本番に向けての準備ができる	配布プリント	今までの資料を持参のこと
		各コマにおける授業予定	ロールプレイ準備②		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	実際に英語を使って検査の説明・問診が出来る	配布プリント	ロールプレイ原稿
		各コマにおける授業予定	ロールプレイ		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	実際に英語を使って検査の説明−問診が出来る	配布プリント	ロールプレイ原稿
		各コマにおける授業予定	診療放射線技師に必要な略語⑤・まとめ		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	この授業で学び得たことの振り返りが出来る	配布プリント	今までの資料を持参のこと
		各コマにおける授業予定	試験対策		